

21世紀の森と広場湧水放射能測定検査結果

測定日	測定場所	①試料計数 (cps)	②BG計数 (cps)	③試料正味計数 (cps)	④BGに対する試料 正味計数の割合 (%)	判定結果
7月14日	光と風の広場 せせらぎ湧水水源	169.6	164.7	4.9	2.9	放射能汚染の可能性無し
7月14日	光と風の広場 広場の橋下せせらぎ	170.4	164.7	5.7	3.4	放射能汚染の可能性無し

* 1 BGは、2 Lマリネリ容器に精製水（純水）を2 L加え、試料と同様・同量で測定した。

* 2 試料正味計数 (cps) = 試料計数 (cps) - BG計数 (cps)

* 3 BGに対する試料正味計数の割合 = 試料正味計数/BG計数 × 100

この値が20%以上の場合は「放射能汚染の可能性有り」と判定し、20%未満の場合「放射能汚染の可能性無し」と判定。

湧水放射能測定検査結果表の見方

測定に関する基本的事項

・採取した湧水を、水道水から不純物を取り除いた「純水」（湧水と同じ量）と比較する。

速報値の表の見方

・単位の“ cps ” は、1秒間に放射線検出器が数えた放射線の数を表す。

①「試料計数」= 光と風の広場で採取した湧水の放射線量。

②「BG計数」= 基準となる純水の放射線量。

③「試料正味計数」= ① - ②の数値。

④「BGに対する試料正味計数の割合」= ③/②

⇒④の値により、湧水の放射線量が純水の放射線量とどの程度異なるかがわかり、

純水に比較して20%以上高い数値が出た場合、放射能汚染の可能性ありと判定する。

検査の根拠

厚生労働省医薬局食品安全部長 食安発0317第3号（平成23年3月17日）「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」（平成14年5月9日）における「第2章1 NaI (TI) シンチレーションサーベイメータによる放射性ヨウ素の測定法」

判定方法

上記マニュアル中に、「I-131 濃度を求めるための機器校正が行われていない NaI (TI) シンチレーションサーベイメータを用いた場合、試料の測定値がバックグラウンドより20%程度高い値を示せば試料中に放射能があると判定」とあり、それを判断基準とした。